

学習活動案

第5学年 英語活動学習活動案

期 間 平成16年9月2日～9月29日
対 象 盛岡市立高松小学校
5年 男子19名 女子16名 計35名
指導者 堀 合 り か (長 期 研 修 生)

1 単元名 われら地球人

2 単元の目標

異文化をもつ人々と臆せず、親しんだ英語や動作・表情などを使いながらかわり、楽しみながらコミュニケーションを図ろうとする意欲を高める

3 単元について

(1) 単元について

総合的な学習の時間に行われる英語活動は、英語そのものを学ぶのではなく、活動をとおして国際理解を進めるものである。異文化をもつ人々に対して、臆することなく進んでかわろうとする態度、すなわち積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成をねらいとしている。

これまでの実践において児童はゲームや遊びなど体験的な活動をとおして、英語や異文化にふれ、親しんではいるが、異文化をもつ人々に進んでかわろうとするまでには至らなかった。これは、異文化をもつ人々に興味・関心をもつような直接の交流の経験が少ないこと、交流の中で、英語をコミュニケーションの道具・手段として実際に使う経験が少なかったため、意志疎通に不安があったことが原因と考える。

そこで本単元では「相手への興味・関心を高める交流活動」、「コミュニケーションを図るための英語の表現に親しむ英語活動」、「親しんだ英語を実際に使ってふれあう交流活動」をつなげ連続性をもたせた単元構成を行った。このことによってコミュニケーションの動機付けを図り、英語を実際に使ってコミュニケーションを図ることのおもしろさや楽しさの実感をさせ、コミュニケーションを図ろうとする意欲を高めると考える。

(2) 児童について

児童は総合的な学習の一環として3年生25時間、4年生10時間、の英語活動を行っている。異文化をもつ人々との実際の交流場面では、ゲームや歌などをいっしょにする活動をとおして、簡単な英語にふれ、外国の生活・文化に親しむ活動を楽しむことができた。

実践に先駆けて行ったアンケートによる実態調査では、「英語活動の時間が楽しみか」という問いに対して、九割以上の児童が「楽しみ」「どちらかという楽しみ」と答えており、「外国の人と交流することは楽しみか」という問いに対して、約九割が「楽しみ」「どちらかという楽しみ」と答えている。このことから児童は英語活動や異文化をもつ人々との交流に対して興味・関心をもっていることが分かる。しかし、少数ながら、外国の人と交流することは、「どちらかという楽しみでない」、「楽しみでない」と感じている児童がいる。その理由として「言葉が通じないかもしれないから」、「何と話したらいいかわからない」を挙げていることから、コミュニケーションツールについての不安感や相手への興味・関心がもてないことがうかがわれる。

(3) 指導に当たって

本単元では、異文化をもつ人々との交流を3回位置付け、直接ふれあわせる体験をさせる。異文化をもつ人々として、コミュニケーションの道具・手段として英語を使う外国人留学生をゲストに迎え、交流させていく。

出会う交流では、異文化をもつ人々に出会わせ、興味・関心をもたせる。知り合う交流では、親しんだ英語を使いながら異文化をもつ人と互いに知り合わせる。共に活動する交流では異文化をもつ人と共に活動させる。

出会う交流と知り合う交流を結ぶ英語に親しむ活動 では、相手との理解を深める会話表現に親しむ活動をする。その際、コミュニケーション場面にふさわしい働きをもった言語材料を扱う。知り合う交流と共に活動する交流を結ぶ英語に親しむ活動 では、異文化をもつ人々と共に活動するための英語の表現を取り上げ、実際のコミュニケーション場面を想定した会話表現に親しむ。また、聞き返しの表現や示したいものの名前を尋ねたり、相手の意思を確認する表現など、コミュニケーションに必要な表現にも親しませる。

指導は、CD等を学習材として活用し、より自然により多くの発音の英語にふれさせたい。

4 単元の指導計画(15時間扱い)(簡略版)

活動	主な活動内容
オリエンテーション < 1 >	単元の見直しをもつ 異文化をもつ人々のビデオレターを視聴する
出会う交流 $< 1\frac{1}{3} >$	異文化をもつ人々と交流する 交流をふり返る 次の交流でゲストに尋ねたいことを考える
英語に親しむ活動 < 全 4 >	互いに知り合う活動に必要な英語を知り、親しむ コミュニケーションに必要な表現に親しむ
< 1 >	・あいさつの表現に親しむ ・気分の聞き方・言い方の表現に親しむ
< 1 >	・相手の好きなもの・得意なものを尋ねる、自分の好きなもの・得意なものを伝える表現に親しむ
< 1 >	・相手の好きなもの・得意なものを尋ねる、自分の好きなもの・得意なものを伝える表現に加えて、もっているものの数を尋ねたり、伝えたりする表現に親しむ(数の言い方も)
< 1 >	・誕生日や年齢を尋ねたり、伝える表現に親しむ(月の言い方・曜日の言い方も)
< 1 >	・話しかけ方、別れ方の表現に親しむ
知り合う交流 $< 1\frac{1}{3} >$	異文化をもつ人々と交流する 交流をふり返る 次の交流でゲストといっしょにしたいことを考える
英語に親しむ活動 < 全 4 >	共に活動するときを使う英語を知り、親しむ コミュニケーションに必要な表現に親しむ
< 1 >	・自己紹介・友達紹介の表現に親しむ ・相手に聞きたい情報を聞く表現・自分の伝えたい情報を伝える表現に親しむ
< 1 >	・学校施設の言い方に親しむ
< 1 >	・学校施設の言い方、案内の仕方・場所の尋ね方の表現に親しむ
< 1 >	・ゲームの紹介の仕方の表現に親しむ(順序・方向の言い方も)
共に活動する交流 $< 2\frac{1}{3} >$	・異文化をもつ人々と交流する ・交流をふり返る ・異文化をもつ人と仲良しになれたかを考える
まとめ < 1 >	・単元全体のふり返りをする ・全体でふり返りの交流をする

5 単元の指導計画(15時間扱い)(詳細版)

段階	月/日 (曜日) <回数>	活動の内容	指導上の留意点
	9/6 (月)	<p>事前調査</p> <p>単元の見通しをもつ 目標の把握</p> <p>交流活動にゲストとして異文化をもつ人々のビデオレターを見る</p>	
テオリシジョン	9/6 (月) <1>	<p>異文化をもつ人々と交流をする 異文化をもつ人々の話を聞く ゲームをいっしょにする</p> <p>・ 歌 Hello ・ ゲ Hello, じゃんけん ・ ゲ ジェスチャーゲーム</p> <p>交流をふり返り、意志疎通ができたかを考える 相手から何を聞いたか、自分が何を伝えたか</p>	<p>外国人の人と交流しながら進めることを知らせる 単元テーマ「異文化をもつ人々と仲良しになろう」を把握させる 名前と簡単なあいさつが入ったビデオを見て、相手への興味・関心をもたせる</p> <p>パーソナリティを表出させた異文化をもつ人々の自己紹介を聞かせたり、ゲームなどで直接ふれあわせたりすることで相手への親しみや興味・関心をもたせる 異文化をもつ人に抵抗感をもつ児童には言葉がけなどの支援を行う</p> <p>互いに知り合うために聞きたいことを考えさせる</p>
「出会う交流」	9/8 (水) 1 <1/3>	<p>互いに知り合う活動に必要な表現に親しむ コミュニケーションに必要な表現に親しむ <あいさつの仕方・相手の気分の聞き方> How are you? I'm fine(hungry, happy, sad...) I have a(headache, fever...)</p> <p>・ 歌 Hello ・ ゲ One Minute Limit ・ ゲ 魔法使いゲーム ・ ゲ ご機嫌うかがいキャッチボール</p>	<p>全ての児童と前時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする あいさつの仕方を確認する 互いのことを分かり合える言語材料を扱う 気分(emotion)の言い方をフラッシュカードを使ったり、ジェスチャーを加えて扱う ゲームなどをとおして友達や教師との一対一のコミュニケーションを多く体験させる</p> <p>抵抗感をもつ児童を励ます 本時に扱った会話表現を使って、全て児童との一対一のコミュニケーションをする</p>
英語に親しむ活動	9/9 (木) <1> 9/10 (金)	<p>互いに知り合う活動に必要な表現に親しむ コミュニケーションに必要な表現に親しむ <相手の情報を得る表現> I like Do you like ? Yes, I do. No, I don't. <コミュニケーションに必要な表現> 自己紹介 Sorry. Pardon? Once again(more) please. Speak more slowly, please.</p> <p>・ ゲ パスポートコントロール ・ ゲ Three People Sit ・ ゲ One Minute Limit ・ 歌 Good-by Song</p>	<p>全ての児童と前時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする</p> <p>相手の表現が分からないときの聞き返しの表現などコミュニケーションの成立に必要な表現を扱う 相手の好きなもの・得意なものを尋ねる表現、自分の好きなもの・得意なことを伝える表現を扱う 「 」に入る言い方(色・食べ物・スポーツ・季節)について、子供達の身近な表現を扱う ゲームなどをとおして友達や教師との一対一のコミュニケーションを多く体験させる</p> <p>抵抗感をもつ児童を励ます</p> <p>本時に扱った会話表現を使って、全て児童との一対一のコミュニケーションをする</p>
	<1> 9/13 (月)	<p>互いに知り合う活動に必要な表現に親しむ コミュニケーションに必要な表現に親しむ <相手の情報を得る表現> What do you like? I like How many do you have? I have</p>	<p>全ての児童と前時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 相手の好きなもの・得意なものを尋ねる表現、自分の好きなもの・得意なことを伝える表現に加えて、持っているものの数を尋ねたり、伝える表現を扱う 数の言い方の確認をする</p>

英語に親しむ活動	<p><コミュニケーションに必要な表現> May I ask some questions? Sure.</p> <p>・ゲ Three People Sit ・ゲ One Minute Limit ・歌 Good-by Song</p> <p><1></p> <p>9/14 (火)</p> <p>互いに知り合う活動に必要な表現に親しむ コミュニケーションに必要な表現に親しむ <相手の情報を得る表現> When is your birthday? July 3. How old are you? 11.(I'm 11.) 今まで親しんだ表現を使いながら、いろいろな人とコミュニケーションをとる</p> <p>・ゲ インタビューゲーム</p> <p><1></p>	<p>「 」に入る言い方(色・食べ物・スポーツ・季節)について、子供達の身近な表現を扱う ゲームなどをとおして友達や教師との一対一のコミュニケーションを多く体験させる</p> <p>抵抗感をもつ児童を励ます</p> <p>本時に扱った会話表現を使って、全て児童との一対一のコミュニケーションをする</p> <p>全ての児童と前時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 誕生日や年齢を尋ねたり、伝える表現を扱う 月の言い方を誕生日の言い方を使って扱う 月の言い方に関連して曜日の言い方も確認する 話しかけ方・別れ方などの表現も扱う コミュニケーションの際には握手などのスキンシップもさせる ゲームなどをとおして友達や教師との一対一のコミュニケーションを多く体験させる</p> <p>抵抗感をもつ児童を励ます</p> <p>本時に扱った会話表現を使って、全て児童との一対一のコミュニケーションをする</p>
「知り合う交流」	<p>9/15 (水)</p> <p>異文化をもつ人々とグループでの交流をする 自分の交流したい相手と親しんだ英語や動作などを使って互いを知り合う</p> <p>・ダ 「マイムマイム」 ・ゲ Simon Says ・ゲ ご機嫌うかがいキャッチボール ・ゲ ジェスチャーゲーム ・ゲ 伝言ゲーム</p> <p><1/3></p> <p>交流をふり返り、仲良しになれたかを考える もっと仲良くなるためにどんなことをすればいいか考える</p>	<p>ゲスト1名に対し児童10名以下で編成したグループでの交流をさせる 交流に抵抗感のある児童の活動を支援する 言葉以外でのコミュニケーションのよさも感じさせる</p> <p>ゲストの感想を聞き、ゲストの国の「さようなら」を教えてもらいその言葉でお別れする</p> <p>学校案内のような、会話をとおしてできる活動を考えさせる</p>
英語に親しむ活動	<p>9/16 (木)</p> <p>活動に必要な言葉を考える (遊びや学校案内等の活動) ゲストに伝えたい表現に親しむ <自分の情報を伝える表現> 自己紹介 友達紹介 This is my friend. His(Her) name is . What subject do you like best?</p> <p>・ゲ Three People Sit</p> <p><1></p> <p>9/21 (火)</p> <p>共に活動するときを使う英語の表現に親しむ コミュニケーションに必要な表現に親しむ <活動に必要な用語・表現> 学校施設の言い方 Music room. Gym. etc. <コミュニケーションに必要な表現> What do you say in English? Excuse me. May I ? I understand. Sorry. Pardon? Sorry, I don't understand.</p> <p>・ゲ 自己紹介・友達紹介ゲーム ・ゲ One Minute Limit</p> <p><1></p> <p>9/22 (水)</p> <p>共に活動するときを使う英語の表現に親しむ コミュニケーションに必要な表現に親しむ</p>	<p>全ての児童と前時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 活動で使いたい言葉を出させる ゲストに伝えなかった自分の情報を伝える表現を扱う(ゲストに聞きたい表現も含む) カードを使って教科の表現を知らせる ゲームなどをとおして友達や教師との一対一のコミュニケーションを多く体験させる 抵抗感をもつ児童への励まし</p> <p>本時に扱った会話表現を使って、全て児童との一対一のコミュニケーションをする</p> <p>全ての児童と前時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする コミュニケーション場面にふさわしい働きをもった言語材料を扱う 話題にしたいものの名前を尋ねたり、相手の意志を確認したりする表現などコミュニケーションの継続に必要な表現を扱う 学校施設の言い方に慣れるよう、絵地図等を使用する 英語活動 で親しんだ言語材料も繰り返し取り扱う ゲームなどをとおして友達や教師との一対一のコミュニケーションを多く体験させる 抵抗感をもつ児童を励ます</p> <p>本時に扱った会話表現を使って、全ての児童との一対一のコミュニケーションをする</p> <p>全ての児童と前時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする</p>

6 活動展開案

(1) オリエンテーション展開案

ア ねらい

単元全体の見通しをもたせ、目標を把握させる。
異文化をもつ人々への興味・関心をもたせる。

イ 展開案

	児童の活動 (T : 教師 C : 児童)	支援及び留意点(準備物)
導入 5	1 あいさつをする T: Hello everyone. C: Hello, (Mrs. Horiai) T: How are you? C: I'm fine ,thank you. (and you?) (T: I'm fine too, thank you.) 2 歌を歌う 『Hello』 『Head And Shoulders, Nnees And Toes』	・活動の始まりを意識させ、活動への弾みをもたせるために、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する ・既習の歌を動作を付けて楽しく歌わせながら、緊張をほぐすと共に、これから英語活動をしていくという意識を高める (C D)
展開 30	3 「われら地球人」の単元の見通しをもつ ・地球にはどんな人がいるか考える 4 「異文化をもつ人々」について知る ・異文化をもつ人々とは ・異文化をもつ人々と仲良くなれるか考える ・テーマを知る 「異文化をもつ人々と仲良くなろう」 5 異文化をもつ人々のビデオレターを見る 名前 出身国 など	・外国の人たちと交流しながら学習を進めることを伝える ・地球(世界)には、日本人だけではなくたくさんの人々(異文化をもつ人々)がいることを意識させる ・異文化をもつ人々とは、生活様式(母語)や宗教などが異なる人々のことであることを知らせる ・異文化をもつ人々は、外国人とは限らないが、外国人は異文化をもつ人であることが多いことを説明する ・理由も含めて考えさせる ・異文化をもつ人々と仲良くなりたいという願いをもたせる ・どうすれば仲良くなれるかを考えさせる ・たくさん話して、お互いのことを分かり合えばいいことに気付かせる ・名前、出身国などについて、簡単な英語で話してもらったビデオテープを視聴させる ・ビデオ視聴後、ゲストやゲストとの交流への興味、関心が高まるように、ゲストの写真を使いながら、ビデオから得た情報を確認させると共に、教師からもゲストについての補足を行う ・何名かの児童に感想を発表させる
終末 10	6 本時の活動を振り返る ・活動を振り返る ・感想を書く 7 あいさつをする	・カードに記入し、自分の活動を振り返らせる ・ビデオ視聴の感想や次への抱負などを考えさせ、次回の活動への意欲付けを図る (振り返りカード) (できるかもカード)

(2) 「出会う交流」展開案

ア ねらい

異文化をもつ人々と直接ふれあわせることで、相手への親しみを感じさせたり、相手への興味・関心をもたせたりして、コミュニケーションの動機付けを図る。

イ 展開案

	児童の活動 (T : 教師 G : ゲスト C : 児童)	支援及び留意点(準備物)
導入	1 あいさつをする T: Hello everyone. C: Hello, (Mrs. Horiai) T: How are you? C: I'm fine ,thank you. (and you?) (T: I'm fine too,thank you.)	(ネームプレート) ・活動の始まりを意識させ、活動への弾みをもたせるために、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
5	2 ゲストをお迎えする	・ゲスト笑顔で入室してもらうよう話し、児童の緊張をほぐし、相手への興味・関心をもたせるようにする
展開	3 異文化をもつ人々に歌のプレゼントをする 『Hello』	・ウォーミングアップとして行う ・一回目は児童のみで歌い、二回目はゲストに児童の間に入ってもらい、児童の距離感を少しでも縮めさせる (CD)
	4 異文化をもつ人々の自己紹介を聞く 名前 出身国 パーソナリティがでる情報	・自己紹介の中でパーソナリティ(得意なこと等)に関することを伝えてもらうように事前にゲストに確認しておく ・聞き取ったことをメモさせる (補助シート)
	5 異文化をもつ人々とゲームをする 『Hello,じゃんけん』 『ジェスチャーゲーム』	・出会った相手と「Hello」と言い合いじゃんけんをし、負けた方から自己紹介をし、相手の名前を聞くゲームをしながら、ゲストと直接ふれあわせ、相手への親しみを感じさせたり、相手への興味・関心をもたせたりさせる ・伝えたいことをジェスチャーで表現するゲームをしながら、言葉以外でも伝え合いができることを感じさせる ・交流に抵抗のある児童のそばで活動を見守り必要に応じて支援する
40	6 異文化をもつ人々とお別れをする ゲストの感想	・ゲストに簡単な英語で感想を言うってもらうようにする ・児童にお礼(英語で)を述べさせ、ゲストを見送らせる
終末	7 本時の活動をふり返る ・交流をふり返る ・次の活動で互いに知り合うために、聞きたいこと、伝えたいことを考えさせる	・カードに記入し、自己評価したりしながら、自分の活動をふり返らせる ・英語をコミュニケーションの道具・手段として意識させる ・活動の良さを取り上げ、次の活動意欲付けを図る ・もっと仲良くなるために、相手から何を聞いたかったか、自分が何を伝えたかったかを考えさせる (ふり返りカード) (できるかもカード)
15		

(3) 「知り合う交流」展開案

ア ねらい

異文化をもつ人々と互いの理解を深めさせるために、親しんだ英語や動作など自分なりの表現を使ってふれあわせ、意志疎通によって得られるおもしろさや楽しさを実感させる。

イ 展開案

	児童の活動 (T : 教師 G : ゲスト C : 児童)	支援及び留意点(準備物)
導入	<p>1 あいさつをする T: Hello everyone. C: Hello, (Mrs. Horiai) G: Hello everyone. C: Hello, (Sosora) G: Hello everyone. C: Hello, (Karla) G: Hello everyone. C: Hello, (Kumo) G: Hello everyone. C: Hello, (Ben)</p> <p>2 全体でダンスをする 『マイムマイム』</p> <p>3 全体でゲームをする 『Simon Says』</p>	<p>(ネームプレート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の始まりを意識させ、活動への弾みをもたせるために、教師から大きな声であいさつをする ・ゲスト全員にも声をかけてもらい、児童の活動への期待感を高める ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する <p>・ゲストと共に声を出したり、体を動かすことで児童の緊張を和らげたり、ゲストとの距離感を縮めさせる (CD)</p> <p>・ゲストに Simon の係をしてもらい、児童の活動への意欲を高めさせる</p> <p>・ゆっくりとしたペースで行わせる</p>
10 展開	<p>4 グループに分かれて活動する</p> <p>(1) 『ご機嫌うかがいキャッチボール』をしながら、互いにあいさつをする</p> <p>(2) 親しんだ英語の表現を使って、聞きたいことを聞く。 ・聞き取ったことを友達と付き合わせて確認する ・聞き取れなかったことを再び質問する</p> <p>(3) グループ対抗でゲームをする 『伝言ゲーム』</p> <p>(4) グループごとに異文化をもつ人々とお別れをする ゲストの感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの児童とゲストを引き合わせる ・交流に抵抗のある児童のそば活動を見守り必要に応じて支援する ・児童とデモンストレーションをし、やり方の確認をする。 ・相手の名前を呼びながらボールを投げ、自己紹介し、相手の気分を聞いたり、ボールを受けて気分を伝えながら、あいさつをさせる ・聞き取ったことをメモさせる (補助シート) ・分からないことは聞き返すように、支援する ・活動の中で積極的に相手に働きかけている児童を賞賛する ・ゲストから質問をしてもらうように確認しておく <p>・教師の示したテーマをグループのメンバーで伝言していき、ゲストまで伝えさせ、グループ内の親交を深めさせる</p> <p>・ゲストに簡単な英語で感想を言ってもらうようにする</p> <p>・お礼(英語で)を述べてゲストをお見送りさせる</p> <p>・ゲストの国の〔さよなら〕を教えるようにし、その言葉を使ってお別れさせる</p>
35 終末	<p>6 本時の活動をふり返る ・交流をふり返る ・次の交流で異文化の人と一緒にする活動を考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カードに記入し、自己評価したりしながら、自分の活動をふり返らせる ・活動の良さを取り上げ、次の活動意欲付けを図る ・もっと仲良くなるには、どんなことがしたいかというねらいから活動を考えさせる <p>(ふり返りカード) (できるかもカード)</p>
15		

(4) 「共に活動する交流」展開案

ア ねらい

異文化をもつ人と意志疎通を必要とする交流活動によって、コミュニケーションを図ることのおもしろさや楽しさを実感させる。

イ 展開案

	児童の活動 (T:教師 G:ゲスト C:児童)	支援及び留意点(準備物)
導入	1 グループごとにあいさつをする ・『パスポートコントロール』をしながら、一人一人がゲストとあいさつをする	(ネームプレート) ・ゲストにグループの全ての児童と英語に親しむ活動で扱った表現を使って、一対一のコミュニケーションをしてもらう (パスポートカード) ・ゲストの問いに答えられない児童にはヒントを与えるなどの支援をする
20 展開	2 グループごとに決めた活動をする (1)校舎を巡りながら学校案内する (2)日本の遊びをゲストに教える 【ソソラグループ】福笑い、双六 【クモグループ】コマ、だるま落とし お手玉 【カルラグループ】福笑い、あやとり (3)それぞれのゲストの国の遊びを教え てもらう 【ソソラグループ】モンゴル式おはじき (シャガー) 【クモグループ】中国式ドッチボール 【カルラグループ】メキシコのおもちゃ (エスカレーター)	・児童の計画に従って、行動させる ・時間に留意することを確認する ・交流に抵抗をもつ児童のグループに寄り添い支援する ・言葉で表現できない部分は、自分なりの表現で伝えることを助言する ・ゲストにそれぞれの国のじゃんけんを教え てもらうようにし、それを使って遊ばせる
	3 グループ対抗でゲームをする 『Lines ゲーム』 “ I like ” レース	・デモンストレーションをしながらゲームの説明を簡単にする ・グループごとに列を作って、正面に立つグループのゲストに向かって走っていき、自分の好きなものを素早く伝えるゲームをし、ゲストと一対一のふれあいをさせる
	4 全体でゲームをする ・ゴキブリゲーム	・他のグループのゲストともふれあう場を設定する ・同じ動物の相手を見付けて、今まで親しんだ表現を使って、会話した後、じゃんけんをして勝った方は進化する(負けた方はそのまま)ゲームをさせて、全体で交流させ楽しませる
	5 グループごとに異文化をもつ人々の感想を聞く ・ゲストの感想を聞く ・一人一人がお礼を言う	・児童一人一人が、ゲストにお礼の気持ちを調べたそれぞれのゲストの国の〔ありがとう〕で伝えさせ、ゲストの国の〔さよなら〕でお別れをさせる
70 終末	6 本時の活動をふり返る ・交流をふり返り、自分の活動をふり返る ・感想を書く	・カードに記入し、自己評価したりしながら、自分の活動をふり返らせる ・異文化をもつ人と仲良しになれたかを考えさせ、そのわけを考えさせる ・伝え合いたいという心理的側面の大切さに気付かせる ・交流をしてよかったこと、考えたことをまとめさせる (ふり返りカード) (できるかもカード)
15		

(5) 英語に親しむ活動 の展開案

ア ねらい

互いに知り合う活動に必要な表現を知り、親しむ。

イ 展開案

< 第 1 時 >

	児童の活動 (T : 教師 C : 児童)	支援及び留意点(準備物)
開始前		入室時に全ての児童と前時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 教師が入国管理官として、児童に質問をし、児童が答えられたらパスポートにスタンプを押す『パスポートコントロール』をする (ごきげんパスポート)
導入	1 あいさつをする T: Hello everyone. C: Hello, (Mrs. Horiai) T: How are you? C:I'm fine, and you? T: I'm fine, thank you. T: How's wether today? C: . T: What's the date today? C: September. 16 T: What day is it today? C: Thursday	・声を出すウォーミングアップとして行う ・応答する児童が少ない場合は、日本語で確かめたり解説しながら行う ・活動の始まりを意識させ、活動への弾みをもたせるために、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
5	2 歌を歌う 「Hello」	・歌いなれた歌で緊張をほぐすようにする ・動作も付けさせ、楽しく歌わせる (CD)
展開	3 前時の復習をする (1)あいさつのしかた T:Hello, I'm Rika. C:Hello, I'm T: , nice to meet you. C:Nice to meet you, too. T:See you. C:See you. (2)ゲームをする 『One Minute Limit』	・入室時のパスポートコントロールで確実にできていた児童を指名し、デモンストレーションを行い確認する ・1分間にあいさつのフレーズをできるだけ多くの友達と交わすゲームをさせ、表現に慣れさせる
	4 本時の活動内容を把握する (1)気分の聞き方・気分の言い方 How are you? I'm _____. (great, good (fine), sleepy, tired hungry, full) (cold, hot, happy, angry, sad) (2)ゲームをする 『魔法使いゲーム』 (3)気分の言い方 I have a _____. (cold, fever, headache, stmachache) (4)ゲームをする 『ご機嫌うかがいいいキャッチボール』	・英語に抵抗のある児童に、全部覚えなくてもいいことを伝え、安心させる ・表情や様子を描いたフラッシュカードを使って繰り返し、表現させ慣れさせる(フラッシュカード) ・気分にあったジェスチャーを考えさせ、言葉と一緒に表現させる ・教師が魔法使いとなり、魔法(気分を表す言葉)をかけると、児童はそのジェスチャーをするというゲームの中で、音声とジェスチャーを用い示すことで意味を自然にとらえさせる ・フラッシュカードを示しながら繰り返し表現させ慣れさせる (フラッシュカード)
35		・友達や教師と会話する活動を取り入れ、表現に慣れ親しませる キャッチボールをしながら相手の気分を聞いたり、自分の気分を言ったりするゲームをさせる ・発語ができていない児童に助言をする
終末	5 活動をふり返る ・自分の活動をふり返る	・カードに記入し、自己評価したりしながら、自分の活動をふり返らせる (ふり返りカード) (できるかもグラフ)
5	6 あいさつをする T: Good-by everyone. C: Good-by , (Mrs. Horiai) T: See you tommorow. C:See you.	・活動の締めくくりとして、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
終了後		退室時に本時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 児童が一番気に入った表現をハイタッチしながら教師に伝える『Good-by ハイタッチ』をする

< 第 2 時 >

	児童の活動 (T : 教師 C : 児童)	支援及び留意点(準備物)
開始前		入室時に全ての児童と前時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 教師が入国管理官として、児童に質問をし、児童が答えられたらパスポートにスタンプを押す『パスポートコントロール』をする (ごきげんパスポート)
導入	1 あいさつをする T: Hello everyone. C: Hello, (Mrs. Horiai) T: How's wether today? C: Fine. (rain, cloudy ...) T: What's the date today? C: September. 10 5 T: What day is it today? C: Friday	<ul style="list-style-type: none"> ・声を出すウォーミングアップとして行う ・活動の始まりを意識させ、活動への弾みをもたせるために、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
展開	2 前時の復習をする (1)気分の聞き方・気分の言い方 How are you? I'm _____ (great, good(fine), sleepy, tired hungry, full) (cold, hot, happy, angry, sad) I have a _____ (cold, fever, headache, stmachache) (2)ゲームをする 『Three People Sit』 3 本時の活動内容を把握する (1)コミュニケーションに必要な表現 Sorry. Pardon? Once again(more) please. Speak more slowly, please. (2)自分の好きなもの・得意なものを伝える表現、相手の好きなもの・得意なものを尋ねる(引き出す)表現 I like _____ 色 (Color)、季節 (Season) 果物 (Fruit)、動物 (Animal) 野菜 (Vegetable) etc. Do You like _____? Yes, I do. No, I don't. I like _____ (3)ゲームをする 『One Minute Limit』	<ul style="list-style-type: none"> ・入室時のパスポートコントロールで確実にできていた児童を指名し、デモンストレーションを行い確認する ・表情や様子を描いたフラッシュカードを使い、表現させる (フラッシュカード) ・気分にあったジェスチャーと一緒に表現させる ・今後何度も繰り返し、使わせるようにする ・できるだけ早く3人の友達とフレーズを交わし、終わったら座るというゲームをさせ、表現になれさせる ・英語に抵抗のある児童に、全部覚えなくてもいいことを伝え、安心させる ・相手の表現が分からないときなどに使う、聞き返しの表現に慣れさせる ・クラス担任とのデモンストレーションを行い、使い方に触れさせる ・ に入る表現は、児童の身近な表現を扱う ・1分間にあいさつのフレーズをできるだけ多くの友達と交わすゲームをさせ、表現に慣れさせる ・発語ができていない児童に助言をする
終末	4 活動をふり返る ・自分の活動をふり返る 5 歌を歌う 『Good-by Song』 8 6 あいさつをする T: Good-by everyone. C: Good-by, (Mrs. Horiai) T: See you tommorow. C: See you.	<ul style="list-style-type: none"> ・カードに記入し、自己評価したりしながら、自分の活動をふり返らせる (ふり返りカード) (できるかもグラフ) ・歌い慣れた歌を楽しく歌わせる ・活動の締めくくりとして、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
終了後		退室時に本時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 児童が一番気に入った表現をハイタッチしながら教師に伝える『Good-by ハイタッチ』をする

< 第 3 時 >

	児童の活動 (T : 教師 C : 児童)	支援及び留意点(準備物)
開始前		入室時に全ての児童と前時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 教師が入国管理官として、児童に質問をし、児童が答えられたらパスポートにスタンプを押す『パスポートコントロール』をする (ごきげんパスポート)
導入	1 あいさつをする T: Hello everyone. C: Hello, (Mrs. Horiai) T: How's wether today? C: Fine. (rain, cloudy ...) T: What's the date today? C: September. 13 5 T: What the date today? C: Monday	・声を出すウォーミングアップとして行う ・活動の始まりを意識させ、活動への弾みをもたせるために、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
展開	2 前時の復習をする (1)自分の好きなもの・得意なものを伝える表現、相手の好きなもの・得意なものを尋ねる(引き出す)表現 I like _____ Fruit, Animal . . . etc. Do You like _____ ? Yes, I do. No, I don't. I like _____ (2)ゲームをする 『Three People Sit』 3 本時の活動内容を把握する (1)コミュニケーションに必要な表現 May I ask some questions? Sure. . . (I'm sorry. . .) (2)相手の情報を得る表現 What _____ do you like? I like _____ How many _____ do you have? brother, sister, pencil . . . etc. I have _____ (3)ゲームをする 『One Minute Limit』	・入室時のパスポートコントロールで確実にできていた児童を指名し、デモンストレーションを行い確認する ・色、季節、果物、動物、野菜などを描いたフラッシュカードを使い、表現させる (フラッシュカード) ・できるだけ早く3人の友達とフレーズを交わし、終わったら座るというゲームをさせ、表現になれさせる ・英語に抵抗のある児童に、全部覚えなくてもいいことを伝え、安心させる ・相手に質問していいか尋ねる表現に慣れさせる ・前時に親しんだ聞き返しの表現(Sorry. etc.)にも、繰り返し親しませる ・ _____ に入る表現は、児童の身近な表現を扱う ・前時と関連して、相手の好きなもの・得意なものを尋ねる(引き出す)表現に親しませる ・相手のもっているものの数を尋ねる表現に親しませる ・数の数え方に親しませる ・1分間にあいさつのフレーズをできるだけ多くの友達と交わすゲームをさせ、表現に慣れさせる ・発語ができていない児童に助言をする
終末	4 活動をふり返る ・自分の活動をふり返る 5 歌を歌う 『Good-by Song』 6 あいさつをする T: Good-by everyone. C: Good-by , (Mrs. Horiai) 8 T: See you tommorow. C: See you.	・カードに記入し、自己評価したりしながら、自分の活動をふり返らせる (ふり返りカード) (できるかもグラフ) ・歌い慣れた歌を楽しく歌わせる ・活動の締めくくりとして、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
終了後		退室時に本時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 児童が一番気に入った表現をハイタッチしながら教師に伝える『Good-by ハイタッチ』をする

< 第 4 時 >

	児童の活動 (T : 教師 C : 児童)	支援及び留意点(準備物)
開始前		入室時に全ての児童と前時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 教師が入国管理官として、児童に質問をし、児童が答えられたらパスポートにスタンプを押す『パスポートコントロール』をする (ごきげんパスポート)
導入 10	1 あいさつをする T: Hello everyone. C: Hello, (Mrs.Horiai) T: How`s wether today? C: Fine.(rain,cloudy...) T: What`s the date today? C: September.14 T: What the date today? C: Tuesday	<ul style="list-style-type: none"> ・声を出すウォーミングアップとして行う ・活動の始まりを意識させ、活動への弾みをもたせるために、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
展開 35	2 前時の復習をずる (1)相手の情報を得る表現 What do you like? I like How many _____ do you have? brother, sister, pencil . . . etc. I have 3 本時の活動内容を把握する (1)相手の情報を得る表現 When is your birthday? July 3. How old are you? 11.(I'm 11.) (2)歌を歌う 『The day of the week』 『Twelve Months』 (3)ゲームをする 『インタビューゲーム』	<ul style="list-style-type: none"> ・入室時のパスポートコントロールで確実にできていた児童を指名し、デモンストレーションを行い確認する ・ _____の部分に入るものの名前(野菜、兄弟など)を描いたフラッシュカードを示し、表現させる (フラッシュカード) ・第2時、第3時に親しんだコミュニケーションに必要な表現も、活用し、繰り返し親しませる ・ゲームをせず、隣の友達とフレーズを練習させる ・英語に抵抗のある児童に、全部覚えなくてもいいことを伝え、安心させる ・誕生日や年齢を尋ねたり、伝えたりする表現に親しませる ・誕生日の言い方に関連して、月の言い方に親しませる ・月の言い方に関連して、曜日の言い方も確認する ・歌のリズムに乗せて楽しく覚えさせる ・何度か繰り返し歌わせる (CD) ・相手への話しかけ方、別れ方を確認させ、握手などのスキンシップもさせる ・今までの親しんだ表現を全部使いながら、友達にインタビューして学習カード(インタビューメモ)にメモし、相手の情報を得るゲームをして、表現に慣れ親しませる ・発語ができていない児童に助言をする
終末 5	4 活動をふり返る ・自分の活動をふり返る 5 あいさつをする T: Good-by everyone. C: Good-by , (Mrs.Horiai) T: See you tommorow. C:See you.	<ul style="list-style-type: none"> ・カードに記入し、自己評価したりしながら、自分の活動をふり返らせる (ふり返りカード) (できるかもグラフ) ・活動の締めくくりとして、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
		退室時に本時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 児童が一番気に入った表現をハイタッチしながら教師に伝える『Good-by ハイタッチ』をする

(6) 英語に親しむ活動 の展開案

ア ねらい

コミュニケーションに必要な表現、共に活動する交流に必要な表現に親しむ。

イ 展開案

< 第 1 時 >

	児童の活動 (T : 教師 C : 児童)	支援及び留意点(準備物)
開始前		入室時に全ての児童と英語活動 に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 教師が入国管理官として、児童に質問をし、児童が答えられたらパスポートにスタンプを押す『パスポートコントロール』をする (ごきげんパスポート)
導入	1 あいさつをする T: Hello everyone. C: Hello, (Mrs. Horiai) T: How's wether today ? C: Fine. (rain, cloudy ...) T: What's the date today ? C: September. 15 T: What day is it today ? C: Wednesday.	・活動の始まりを意識させ、活動への弾みをもたせるために、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
5 展開	3 「共に活動する交流」に使いたい言葉を考える 4 今日の課題把握 (1)相手の情報を得る表現 What subject do you like best? _____. (I like _____) Japanese, math, science, music . . . (2)自己紹介・友達紹介の表現 Hello, my name is Rika Horiai. (Horiai Rika) Please call me Rika. I'm 11. I like strawberries. My birheday is July 3. I have a son. . . . This is my friend. His(Her) name is _____. He(She) likes _____ (3)ゲームをする 『Three People Sit』	・児童が考えた活動(学校案内、遊び)で使いたい言葉を出させ、次時からの課題に生かす ・英語に抵抗のある児童に、全部覚えなくてもいいことを伝え、安心させる ・「知り合う交流」を終えてゲスト伝えたかったこと、聞きたかったこととして出てきた表現を扱う ・教科の名前を扱う 次時の学校施設の案内に関連 ・教科を描いたフラッシュカードを使い、表現に慣れさせる (フラッシュカード) ・自己紹介については、確認程度にする ・クラス担任とのデモンストレーションを行い、使い方に触れさせる ・英語活動 に扱った表現を使わせる ・ペアを作り、お互いに自己紹介をし、相手の情報を得ておく ・今までに親しんだコミュニケーションに必要な表現についても適宜確認する。 ・三人称のことに、軽く触れる ・できるだけ早く3組の友達のペアと友達紹介のフレーズを交わし、終わったら座るというゲームをさせ、表現になれさせる ・ペアを作り替え、自己紹介をさせた後、再度ゲームをさせる ・発語ができていない児童に助言をする
35		
5 終末	5 活動をふり返る ・自分の活動をふり返る 6 あいさつをする T: Good-by everyone. C: Good-by , (Mrs. Horiai) T: See you tommorow. C: See you.	・カードに記入し、自己評価したりしながら、自分の活動をふり返らせる (ふり返りカード) (できるかもグラフ) ・活動の締めくくりとして、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
5 終了後		退室時に本時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 児童が一番気に入った表現をハイタッチしながら教師に伝える『Good-by ハイタッチ』をする

< 第2時 >

	児童の活動 (T : 教師 C : 児童)	支援及び留意点(準備物)
開始前		入室時に全ての児童と前時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 教師が入国管理官として、児童に質問をし、児童が答えられたらパスポートにスタンプを押す『パスポートコントロール』をする (ごきげんパスポート)
導入	1 あいさつをする T: Hello everyone. C: Hello, (Mrs. Horiai) T: How's wether today C: Fine. (rain, cloudy ...) T: What's the date today C: September. 21 5 T: What day is it today C: Tuesday.	・活動の始まりを意識させ、活動への弾みをもたせるために、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
展開	3 前時の復習をする 『自己紹介・友達紹介ゲーム』 4 今日の課題把握 (1)コミュニケーションに必要な表現 What do you say in English? (2)学校の施設の言い方 The first floor, The second floor, The third floor, gym class room, library, nurse's office, computer room, music room, art room science room, swimming pool, office, home making room, teacher's room, principal's room, broadcasting studio restroom, entrance, etc. (3)ゲームをする 『One Minute Limit』	・実際のコミュニケーションの中で親しんだ表現を使わせ、ペアでお互いに自己紹介をし合い、情報を得た後で、他のペアに対し自分のパートナーを紹介するゲームをさせる ・話したい言葉やものの名前の表現が分からないときに使用することを知らせる の部分は言葉でなくてもジェスチャーやものを指し示しても聞けることも伝える ・以前に親しんだコミュニケーションに必要な表現についても適宜確認する。 ・英語に抵抗のある児童に、全部覚えなくてもいいことを伝え、安心させる ・学校の絵地図等を使って繰り返し表現させ、慣れさせる (校舎の絵地図)(学習プリント) ・絵地図を示しながら繰り返し表現させ慣れさせる ・プリントを使って、友達同士で指し示し、その場所の表現を言い合わせる ・1分間に学校施設の表現をできるだけ多くの友達と交わすゲームをさせ、表現に慣れさせる プリントを使い、指し示した場所の表現を言い合うゲームをさせる
35 終末	5 活動をふり返る ・自分の活動をふり返る 6 あいさつをする T: Good-by everyone. C: Good-by, (Mrs. Horiai) 5 T: See you tommorow. C: See you.	・カードに記入し、自己評価したりしながら、自分の活動をふり返らせる (ふり返りカード) (できるかもグラフ) ・活動の締めくくりとして、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
終了後		退室時に本時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 児童が一番気に入った表現をハイタッチしながら教師に伝える『Good-by ハイタッチ』をする

< 第 3 時 >

	児童の活動 (T : 教師 C : 児童)	支援及び留意点(準備物)
開始前		入室時に全ての児童と前時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 教師が入国管理官として、児童に質問をし、児童が答えられたらパスポートにスタンプを押す『パスポートコントロール』をする (ごきげんパスポート)
導入	1 あいさつをする T: Hello everyone. C: Hello, (Mrs. Horiai) T: How's wether today C: Fine. (rain, cloudy ...) T: What's the date today C: September. 22 5 T: What day is it today C: Wednesday.	・活動の始まりを意識させ、活動への弾みをもたせるために、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
展開	3 前時の復習をする (1)学校の施設の言い方 The first floor, gym class room, library, nurse's office, computer room, music room, art room restroom, entrance, etc. (2)ゲームをする 『Three People Sit』 4 今日の課題把握 (1)学校の施設の案内の表現 This is . Here is . (2)場所を尋ねたり、答えたりする表現 Excuse me. Where is ? It's on the floor. Thank you. You are welcome. (3)ゲームをする 『One Minute Limit』	・入室時のパスポートコントロールで確実にできていた児童を指名し、デモンストレーションを行い確認する ・学校の絵地図を示しながら繰り返し表現させ慣れさせる (校舎の絵地図) ・できるだけ早く3人の友達とプリントを使って、場所を指し示し、その場所の表現を言い合い、終わったら座るというゲームをさせ、表現になれさせる ・英語に抵抗のある児童に、全部覚えなくてもいいことを伝え、安心させる ・学校の施設の場所を聞く表現に限定し、道案内のような難しい表現は扱わない ・以前に親しんだコミュニケーションに必要な表現についても適宜確認し、使わせる ・1分間にできるだけ多くの友達とフレーズを交わすゲームをさせ、表現に慣れさせる ・発語ができていない児童に助言をする
32 終末	5 活動をふり返る ・自分の活動をふり返る 6 歌を歌う 『Good-by Song』 7 あいさつをする T: Good-by everyone. C: Good-by, (Mrs. Horiai) 8 T: See you tomorrow. C: See you.	・カードに記入し、自己評価したりしながら、自分の活動をふり返らせる (ふり返りカード) (できるかもグラフ) ・歌い慣れた歌を楽しく歌わせる ・活動の締めくくりとして、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
終了後		退室時に本時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 児童が一番気に入った表現をハイタッチしながら教師に伝える『Good-by ハイタッチ』をする

< 第4時 >

	児童の活動 (T : 教師 C : 児童)	支援及び留意点(準備物)
開始前		入室時に全ての児童と前時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 教師が入国管理官として、児童に質問をし、児童が答えられたらパスポートにスタンプを押す『パスポートコントロール』をする (ごきげんパスポート)
導入	1 あいさつをする T: Hello everyone. C: Hello, (Mrs. Horiai) T: How's wether today ? C: Fine. (rain, cloudy ...) T: What's the date today? C: September. 24 5 T: What day is it today? C: Friday.	・活動の始まりを意識させ、活動への弾みをもたせるために、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
展開	3 前時の復習をする (1)学校の施設の案内の表現 This(Here) is (2)場所を尋ねたり、答えたりする表現 Excuse me. Where is ? It's on the floor. Thank you. You are welcome. (3)ゲームをする 『ゴキブリゲーム』	・入室時のパスポートコントロールで確実にできていた児童を指名し、デモンストレーションを行い確認する ・学校の絵地図を示しながら繰り返し表現させ慣れさせる (校舎の絵地図)
32	4 今日の課題把握 (1)ゲームの紹介・遊び方 This is Let's play together. First, second up, down, left, right eye, mouth, hand, foot (2)学校案内・日本の遊びの練習をする (3)ゲームをする 『ジェスチャーゲーム』	・出会った同じ段階の者同士でフレーズを交わし合い、じゃんけんをし、勝った方がゴキブリ 鶏 ゴリラ 人間(上がり)と順に進化するゲームをし、表現に繰り返し慣れさせる ・英語に抵抗のある児童に、全部覚えなくてもいいことを伝え、安心させる ・ゲームのやり方を確認させ、どのように伝えるか考えさせる ・全てを英語で表現することは無理であることを認識させ、言葉以外の表現で伝えればいいことに気付かせる ・順序や方向、体の部分の名称を扱う ・順序や方向、体の部分を描いたフラッシュカードを使い、表現に慣れさせる (フラッシュカード)
終末	5 活動をふり返る ・自分の活動をふり返る 6 歌を歌う 『Good-by Song』 7 あいさつをする T: Good-by everyone. C: Good-by, (Mrs. Horiai) T: See you tommorow. C: See you.	・カードに記入し、自己評価したりしながら、自分の活動をふり返らせる (ふり返りカード) (できるかもグラフ) ・歌い慣れた歌を楽しく歌わせる ・活動の締めくくりとして、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
終了後		退室時に本時に扱った会話表現を使って、一対一のコミュニケーションをする 児童が一番気に入った表現をハイタッチしながら教師に伝える『Good-by ハイタッチ』をする

(7) まとめ展開案

ア ねらい

単元全体をふり返り、異文化をもつ人々とコミュニケーションを図ることの大切さに気付かせ、今後のコミュニケーションへの抱負をもたせる。

イ 展開案

	児童の活動 (T : 教師 C : 児童)	支援及び留意点(準備物)
導入	1 あいさつをする T: Hello everyone. C: Hello, (Mrs. Horiai) T: How's wether today ? C: Fine. (rain, cloudy ...) T: What's the date today? C: September. 27 5 T: What day is it today? C: Monday.	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の始まりを意識させ、活動への弾みをもたせるために、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する
展開	2 自分の交流についてふり返る (1)テーマをふり返る 「異文化をもつ人々と仲良くなろう」 (2)異文化をもつ人と仲良くなれたか考える 30 4 異文化をもつ人と仲良くなれたかを話し合う (1)グループで話し合う (2)全体で話し合う 5 単元のまとめをする	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションで話し合ったこと(異文化をもつ人々と仲良くなるにはたくさん話して、お互いのことを分かり合えばいい)を想起させる ・今回の交流をふり返りながら、異文化をもつ人と仲良くなれたか考え、カードに記入させる (ふり返りカード) ・自分の考えが書けていない児童には、助言をする ・異文化をもつ人と仲良くなれたかについての考えを交流させる ・グループでの活動をふり返らせ、交流の成果について話し合わせる ・グループごとの活動の成果を全体に広げさせる ・他のグループの活動の良さにも気付かせる ・コミュニケーションを図ることの大切さにふれ、今後の生活に生かすことを意識させる ・コミュニケーションで大切なのは、まずかかわろうとする気持ちであることに気付かせる
終末	5 活動をふり返る ・自分の活動をふり返る 6 あいさつをする T: Good-by everyone. C: Good-by , (Mrs. Horiai) 10 T: See you tommorow. C: See you.	<ul style="list-style-type: none"> ・カードに記入し、自己評価したりしながら、自分の活動をふり返らせる (ふり返りカード) (できるかもグラフ) ・活動の締めくくりとして、教師から大きな声であいさつをする ・声の出し方や表情が望ましい児童を賞賛する

イ 「出会う交流」で使用したふり返しカード

われら地球人 ふり返しカード ②



めあて _____

5年組 番 _____

月/日	できたら○ できなかった	A B C のどれかに○をしよう よくできた→A できなかった→C どちらも言えない→B					次 の交流 で話し かけ られる と思う か
		楽しく活動 できたか	相手の話を 聞こうと したか	進んで話し かけようと したか	相手の伝え たいことを 分かったか	自分の伝え たいことを 分かってもら えたか	思う
/	アイコンタクト 笑顔 大きな動作 大きな声 大反応	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	思う どちらも 言えない 思わない

☆ゲストと知り合うために使いたい言葉



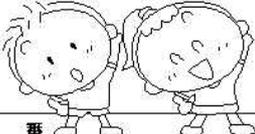
先生から

今日の感想 おもしろかったこと、できたこと、次へのほうき など



ウ 「知り合う交流」で使用したふり返しカード

われら地球人 ふり返しカード ③



めあて _____

5年組 番 _____

月/日	できたら○ できなかった	A B C のどれかに○をしよう よくできた→A できなかった→C どちらも言えない→B					次 の交流 で話し かけ られる と思う か
		楽しく活動 できたか	相手の話を 聞こうと したか	進んで話し かけようと したか	相手の伝え たいことを 分かったか	自分の伝え たいことを 分かってもら えたか	思う
()	アイコンタクト 笑顔 大きな動作 大きな声 大反応	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	思う どちらも 言えない 思わない

☆ _____ さんと交流しました。

☆ 次の交流でどんなことをしたいですか

先生から

今日の感想 おもしろかったこと、できたこと、次へのほうき など



月 日 ()

交流メモ①

5年 組

ゲストのことをメモしよう

ゲストの名前 (ニックネーム)	○ゲストについて分かったことや思ったこと ○聞いてみたいこと、伝えたいと思うこと などなど・・・

(ふり返しカード 裏面の補助シート)

月 日 ()

交流メモ②

5年 組

聞いたことをメモしよう

ゲストの名前 (ニックネーム)	自分で聞いたこと
	<今日の気分>
	<好きなもの>
	<その他の情報>
<hr/> <友だちとの情報交かんて分かったこと>	

(ふり返しカード 裏面の補助シート)

エ 「共に活動する交流」で使用したふり返しカード

われら地球人 ふり返しカード ④

5年 組 番

めあて

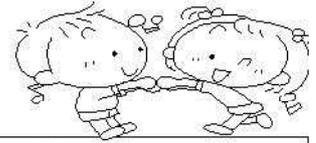
月 / 日		A B C のどれかに○をしよう よくできた → A できなかった → C どちらも言えない → B					☆ _____ さんとしたことは
できたら○ できたら	楽しく活動 できたか	相手の話を 聞こうと したか	通んで話し かけようど 分かったか	相手の伝え たいことを 分かってもら えたか	自分の伝え たいことを 思ったか	他の異文化 をもつ人 に話しかけ られると	☆ 新しく分かったことは ~~~~~ ~~~~~ ~~~~~
アイコンタクト 笑顔	A	A	A	A	A	思う	先生から
大きな動作 大きな声	B	B	B	B	B	どちらとも 言えない	
大反	C	C	C	C	C	思わない	

今日の感想 おもしろかったこと、できたこと、今後のほうふ など

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

オ まとめで使用したふり返りカード

# われら地球人 ふり返りカード ⑤



テーマ  
異文化をもつ人々と仲良しになろう

5年組 番

自分の交流について  
(異文化をもつ人と仲良しになれたか)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

今日の感想(今後のほうふなど)  
(友達の話聞いて思ったこと、分かったことなど)

.....

.....

.....

.....

.....

先生から



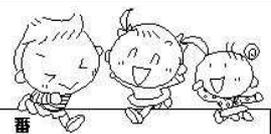
3 English Timeふり返りカード( ) ( 同様のものを使用)

## われら地球人 ふり返りカード

( English Time ① )

5年組 番

| 月/日 | できたか<br>○で<br>もう                      | A B Cのどれかに○をしよう<br>よくできた→Aどちらとも言えない→B<br>できなかった→C |                       |                          |                            | 今日の感想<br>できたこと<br>次へのほうふ など |
|-----|---------------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------|--------------------------|----------------------------|-----------------------------|
|     |                                       | 進んで聞く<br>ことができ<br>たか                              | 進んで伝える<br>ことができ<br>たか | 相手の伝えて<br>いることが分<br>かったか | 自分が伝え<br>たことを分か<br>ってもらえたか |                             |
| /   | アイコンタクト<br>笑顔<br>大きな動作<br>大きな声<br>大反応 | A B C                                             | A B C                 | A B C                    | A B C                      |                             |
| /   | アイコンタクト<br>笑顔<br>大きな動作<br>大きな声<br>大反応 | A B C                                             | A B C                 | A B C                    | A B C                      |                             |
| /   | アイコンタクト<br>笑顔<br>大きな動作<br>大きな声<br>大反応 | A B C                                             | A B C                 | A B C                    | A B C                      |                             |
| /   | アイコンタクト<br>笑顔<br>大きな動作<br>大きな声<br>大反応 | A B C                                             | A B C                 | A B C                    | A B C                      |                             |



4 ごきげんパスポート

ア English Time (英語に親しむ活動 ) の入室時に毎時間、児童との一対一のコミュニケーションを図り、既習フレーズの確認のために使用



ごきげんパスポート



5 年 組 番

| Date | だれに<br>何と答えたか | 印 | Date | だれに<br>何と答えたか | 印 |
|------|---------------|---|------|---------------|---|
| /    |               |   | /    |               |   |
| ( )  |               |   | ( )  |               |   |
| /    |               |   | /    |               |   |
| ( )  |               |   | ( )  |               |   |
| /    |               |   | /    |               |   |
| ( )  |               |   | ( )  |               |   |

イ 「共に活動する交流」で ゲストが使用したもの




ごきげんパスポート②




5 年 組 番

| Date | 何と聞かれて<br>何と答えたか | 印 |
|------|------------------|---|
| /    |                  |   |
| ( )  |                  |   |
| /    |                  |   |
| ( )  |                  |   |

5 インタビューメモ

English Time ( 英語に親しむ活動 ) で使用

| インタビューメモ  |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 5年 組 番    |           |           |
| <b>名前</b> | <b>名前</b> | <b>名前</b> |
| 今日の気分     | 今日の気分     | 今日の気分     |
| 好きなもの     | 好きなもの     | 好きなもの     |
| 家族・きょうだい  | 家族・きょうだい  | 家族・きょうだい  |
| その他の情報    | その他の情報    | その他の情報    |
| <b>名前</b> | <b>名前</b> | <b>名前</b> |
| 今日の気分     | 今日の気分     | 今日の気分     |
| 好きなもの     | 好きなもの     | 好きなもの     |
| 家族・きょうだい  | 家族・きょうだい  | 家族・きょうだい  |
| その他の情報    | その他の情報    | その他の情報    |
| <b>名前</b> | <b>名前</b> | <b>名前</b> |
| 今日の気分     | 今日の気分     | 今日の気分     |
| 好きなもの     | 好きなもの     | 好きなもの     |
| 家族・きょうだい  | 家族・きょうだい  | 家族・きょうだい  |
| その他の情報    | その他の情報    | その他の情報    |